

令和元年度事業報告

令和元年度庶務事項

1 評議員・役員構成

(令和元年度末、五十音順)

役 職	氏 名	兼職状況
評 議 員	窪 田 優 一	釜石市副市長
評 議 員	佐 藤 廣 昭	宮古市副市長
評 議 員	澤 里 充 男	久慈市副市長
評 議 員	白 水 伸 英	岩手県政策地域部長
評 議 員	高 泰 久	大船渡市副市長
評 議 員	橋 本 良 隆	岩手県商工会議所連合会専務理事
評 議 員	藤 代 博 之	岩手大学三陸復興・地域創生推進機構長
代 表 理 事	保 和 衛	岩手県副知事
業 務 執 行 理 事	小 野 寺 宏 和	岩手県政策地域部地域振興室長兼三陸防災復興プロジェクト 2019 推進室長兼台風災害復旧復興推進室長
業 務 執 行 理 事	平 井 省 三	岩手県政策地域部部付
理 事	有 賀 義 信	一般社団法人日本旅行業協会東北支部岩手県地区委員会委員長
理 事	菅 野 信 弘	北里大学海洋生命科学部学部長
理 事	熊 谷 敏 裕	岩手県商工会連合会専務理事
理 事	後 藤 均	岩手県漁業協同組合連合会専務理事
理 事	津 田 敦	東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター長
理 事	中 村 一 郎	三陸鉄道株式会社代表取締役社長
理 事	松 田 淳	岩手県立大学宮古短期大学部学部長
監 事	菊 池 芳 泉	一般社団法人岩手県銀行協会常務理事
監 事	佐 藤 修	岩手県町村会参与兼事務局長

2 会議等開催状況

年月日	記 事
H31. 4. 19	<p>理事会（決議省略）</p> <p>第 1 号議案 理事及び評議員選任にかかる評議員会の決議の省略について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事 植田真弘氏、鈴木敦氏及び評議員 菅原悦子氏、中居正剛氏の辞任に伴い、後任理事及び評議員の候補者（小笠原隆行氏、松田淳氏、澤里充男氏、藤代博之氏）を決定
4. 25	<p>評議員会（決議省略）</p> <p>第 1 号議案 理事の選任について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小笠原隆行氏及び松田淳氏を理事に選任 <p>第 2 号議案 評議員の選任について</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・澤里充男氏及び藤代博之氏を評議員に選任
R 元. 5. 8	変更登記（理事及び評議員の変更）
5. 9	<p>理事会（決議省略）</p> <p>第 1 号議案 業務執行理事の選定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事 小笠原隆行氏を業務執行理事に選定
5. 17	本監査（於：岩手県庁）
5. 27	<p>第 1 回理事会（於：岩手県議会棟）</p> <p>報 告 職務執行の状況について</p> <p>第 1 号議案 平成 30 年度事業報告及び附属明細書の承認について</p> <p>第 2 号議案 平成 30 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録の承認について</p> <p>第 3 号議案 令和元年度第 1 回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について</p>
6. 4	2019 年度調査研究事業審査委員会（於：岩手県水産会館）
6. 10	地域コミュニティ再生・活性化支援事業（2 次募集）審査委員会（於：岩手県庁）
6. 12	<p>第 1 回評議員会（於：岩手県民会館）</p> <p>報 告 職務執行の状況について</p> <p>第 1 号議案 平成 30 年度事業報告及び附属明細書の承認について</p> <p>第 2 号議案 平成 30 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録の承認について</p> <p>第 3 号議案 公益財団法人さんりく基金定款の一部変更について</p> <p>第 4 号議案 任期満了に伴う評議員の選任について</p> <p>第 5 号議案 任期満了に伴う理事の選任について</p> <p>第 6 号議案 任期満了に伴う監事の選任について</p>
6. 12	<p>理事会（決議省略）</p> <p>第 1 号議案 代表理事及び業務執行理事の選定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事 保和衛氏を代表理事に、小笠原隆行氏及び平井省三氏を業務執行理事に選定
6. 27	変更登記（理事及び評議員の変更）
8. 26	県北沿岸地域新商品・新サービス開発事業（2 次募集）審査委員会（於：岩手県庁）
9. 6	公益法人認定法に基づいた行政庁による立入検査（於：岩手県庁）

11.18	令和元年度研究成果報告会（於：大船渡市魚市場）
11.28	<p>理事会（決議省略）</p> <p>第1号議案 事務局長の選任について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小野寺宏和氏を事務局長に選任 <p>第2号議案 理事選任にかかる評議員会の決議の省略について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事 小笠原隆行氏の辞任に伴い、後任理事の候補者（小野寺宏和氏）を決定
12.4	<p>評議員会（決議省略）</p> <p>第1号議案 理事の選任について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小野寺宏和氏を理事に選任
12.13	変更登記（理事の変更）
12.16	<p>理事会（決議省略）</p> <p>第1号議案 業務執行理事の選定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事 小野寺宏和氏を業務執行理事に選定
R2.1.23	<p>第2回理事会（於：岩手県議会棟）</p> <p>報 告 職務執行の状況について</p> <p>第1号議案 令和2年度事業計画及び収支予算の承認について</p> <p>第2号議案 令和元年度第2回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について</p>
2.6	<p>第2回評議員会（於：岩手県公会堂）</p> <p>報 告 職務執行の状況について</p> <p>第1号議案 令和2年度事業計画及び収支予算の承認について</p>
3.23	<p>理事会（決議省略）</p> <p>第1号議案 公益財団法人さんりく基金財務規程の一部改正について</p> <p>第2号議案 令和2年度事業計画の変更及び収支予算（補正第1号）の承認について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県負担金事業の追加等に伴う予算額の増額を承認 <p>第3号議案 重要な使用人の選任について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局長、事務局次長及び三陸DMOセンター長を選任 <p>第4号議案 評議員会の決議の省略について</p> <p>協 議 事 項 県出資等法人に係る中期経営計画書について</p>
3.30	<p>評議員会（決議省略）</p> <p>第1号議案 令和2年度事業計画の変更及び収支予算（補正第1号）の承認について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県負担金事業の追加等に伴う予算額の増額を承認

基本財産造成状況等

1 基本財産造成状況（令和2年3月31日現在）	335,400,000円
（1）県	230,000,000円
（2）市町村	100,000,000円
（3）民間企業団体等	5,400,000円

市町村別出捐内訳

（単位：千円）

市町村名	出捐金額	市町村名	出捐金額	市町村名	出捐金額
大船渡市 （うち旧三陸町分）	10,900 (3,600)	宮古市 （うち旧宮古市分）	19,000 (10,000)	久慈市 （うち旧久慈市分）	10,400 (7,500)
陸前高田市	6,100	（うち旧田老町分）	(3,100)	（うち旧山形村分）	(2,900)
住田町	3,400	（うち旧新里村分）	(2,900)	普代村	2,900
釜石市	9,200	（うち旧川井村分）	(3,000)	野田村	3,100
大槌町	4,900	山田町	5,400	洋野町	7,800
遠野市 （うち旧遠野市分）	9,400 (6,200)	岩泉町	4,400	（うち旧種市町分）	(4,500)
（うち旧宮守村分）	(3,200)	田野畑村	3,100	（うち旧大野村分）	(3,300)
		合 計			100,000

民間企業・団体等出捐内訳（名称は出捐当時）

・岩手県銀行協会（岩手銀行、東北銀行、北日本銀行、みちのく銀行、盛岡信用金庫、宮古信用金庫、一関信用金庫、花巻信用金庫）	2,000千円
・新日本製鐵株式会社釜石製鐵所	1,000千円
・東北電力株式会社岩手支店	1,000千円
・日本電信電話株式会社盛岡支店	1,000千円
・久慈商工会議所	100千円
・宮古商工会議所	100千円
・釜石商工会議所	100千円
・大船渡商工会議所	100千円

民間企業・団体等計 5,400千円

2 投資有価証券評価益（令和2年3月31日現在）	3,953,576円
--------------------------	------------

基本財産合計額 339,353,576円

令和元年度事業実施状況について

1 基本方針

当財団の設立目的である三陸地域及びその周辺地域の振興を図るため、東日本大震災津波発災以降、復旧・復興に重点的に取り組んできたところであるが、令和元年度は、東日本大震災津波及び平成28年台風第10号災害からの復興に資する取組支援、三陸防災復興プロジェクト2019を契機とした地域振興の推進を重点的に取り組んだ。

2 事業別の実施状況

公1：三陸地域の振興に関する総合的な調査研究及び提言

1 三陸地域の交流人口拡大に向けた広域活動調査

〔目的〕

被災地の持続可能な地域社会の構築に向けて、地域資源を生かした観光などの産業振興や三陸ブランドの確立などにかかる事業を総合的に展開し、三陸地域一体となった魅力的な地域づくりを推進するもの。

(1) 三陸地域での広域的な周遊を促進するための新たな体験プログラム等の旅行商品化に向けた実証調査

〔実施状況〕

これまで養成した三陸観光プランナー（H28 25名、H29 21名、H30 5名）の活動のフォローアップや体験プログラムの造成支援を行うとともに、プランナーが提案する体験プログラムを組み込んだモニターツアー等を実施した。

○ 令和元年度モニターツアーの開催内容（三陸観光プランナー養成塾と同時開催）

	開催日時	開催地	主な内容
第1回	R1. 12. 12～ 12. 13	山田町 大槌町	漁師さんのアカザラ貝体験・プラスチック3Dモデル職人と作る体験
第2回	R2. 1. 23～ 1. 24	田野畑村	机浜番屋塩づくり体験・サップ船で行く机浜番屋朝食
第3回	R2. 2. 27～ 2. 28	遠野市 住田町	遠野ナイトピアホッピング体験・住田メイプルスノーハイク体験

○ 令和元年度盛岡第三高等学校総合学習

	開催日時	開催地	主な内容
—	R1. 10. 10	宮古市 ほか6市町	体験プログラムを通じた高校生のキャリア形成支援 ・高田松原植樹整備活動 ・根浜海岸再生（海岸清掃、防風林種まき、ハマナス再生） ・震災学習アクティブラーニング 等

○ 令和元年度県内留学生モニターツアー

	開催日時	開催地	主な内容
—	R1. 11. 9～ 11. 10	大船渡市 陸前高田市 住田町	魚捌き体験、潮風トレイルウォーク（碁石海岸周辺散策）、東日本大震災津波伝承館見学、住田町まち歩き、こんにやく作り体験

〔実績額〕

1,248,195円

〔主な成果〕

プランナーが企画した体験プログラムの旅行商品化に向けて、改善点の洗い出しやその対応の検討を行うとともに、ツアー企画やガイドを通じて、プランナーの活動現場における対応力やコーディネート力の向上が図られた。なお、平成30年度までに造成し、モニターツアー等により磨き上げられてきた体験プログラムについて、令和元年度沿岸広域振興局事業と連携し、27件が旅行商品として販売された。

〔今後の展開〕

三陸ジオパークやみちのく潮風トレイル、三陸鉄道など、三陸地域の資源を生かした多彩なコンテンツの開発促進を行うとともに、「三陸に周遊・滞在する」多彩な旅行商品の造成を推進する。



外国人留学生モニターツアー



盛岡第三高等学校総合学習

(2) 三陸地域の総合的な振興の推進体制の整備に向けた調査・検討

〔実施状況〕

復興の先を見据えた官民協働による三陸地域の総合振興推進体制の構築に向けて、具体的な事業モデルを検討するため、国内の先進事例を調査した。

〔実績額〕

194,860円

〔主な成果〕

- ① 地域商社機能の先進事例として、以下の3事業者を訪問、ヒアリング調査を実施。
 - ア 株式会社九州テーブル/Ippei Group（宮崎県宮崎市）；九州産の原材料を使用した高付加価値化型6次商品（九州パンケーキ）を開発、販売し、海外にも展

開。また、廃校を利用した起業家の拠点施設（MUKASA-HUB）を運営。

イ 一般財団法人こゆ地域づくり推進機構（宮崎県児湯郡新富町）；1粒2,000円でブランド化したライチに代表される特産品を販売。ふるさと納税の運営受託のほか、起業家育成にも積極的に投資。

ウ ながと物産合同会社/センザキッチン（山口県長門市）；長門市と一次産業関連団体の出資により設立。交流施設（道の駅センザキッチン）を拠点に施設運営や長門ブランド製品の販路拡大等の事業を展開。

② 交通ネットワークの高次元化の先進事例として、現地視察及び関係者への訪問ヒアリング調査を実施。

ア 現地視察；伊豆エリア（静岡県）のM a a S実証実験を視察し、実際に鉄道（伊豆急線）やバス、オンデマンドタクシーの乗降車を体験。

イ 関係者ヒアリング；実証実験を運営しているJ R東日本及びJ R東日本企画を訪問し、事業概要や今後の展開についてヒアリングを実施。

[今後の展開]

三陸地域の総合的な振興を推進する体制については、岩手県と連携し、想定される事業領域の具体的な収益モデルや専門人材の確保、推進体制の構築スケジュールなどに関して、引き続き検討を進めていく。

(3) 三陸防災復興プロジェクト2019の実施

[実施状況]

令和元年6月から8月にかけて沿岸地域を中心に開催された三陸防災復興プロジェクト2019の各事業の企画制作運営及び広報宣伝等を実施するため、三陸防災復興プロジェクト2019実行委員会の構成団体として負担金を支出した。

[実績額]

94,060,000円

[主な成果]

6月1日から8月7日までの68日間に、三陸防災復興プロジェクト2019実行委員会が主催する22の事業のほか、市町村や関係機関が軌を一にした関連事業を実施（会期中に開催された関連事業は101事業）。復興に力強く取り組んでいる地域の姿、東日本大震災津波の記憶と教訓を発信するとともに、三陸地域の多様な魅力を国内外に発信し、交流の活発化を推進。

実行委員会が主催した22事業への参加者数は、約18万5千人。実行委員会の事業と市町村等が実施した関連事業を含めた地域への経済波及効果は、35.9億円と推計。

実施結果については、別添三陸防災復興プロジェクト2019報告書（概要版）を参照のこと。

[今後の展開]

三陸防災復興プロジェクト2019の目指す姿や成果を踏まえ、国内外の多様な主体とつながりながら、三陸防災復興プロジェクトとして取組を継続。（令和2年2月5日三陸防災復興プロジェクト2019実行委員会第4回総会において決議。）

当基金としては、引き続き三陸防災復興プロジェクトの取組を支援していく。

公 2 : 三陸地域の振興のための人材育成

1 三陸ジオパーク推進協議会負担金（ジオパークガイド養成経費等）

〔目 的〕

三陸ジオパークの担い手となる地域住民ガイドの養成等、三陸ジオパーク推進協議会の活動を推進するもの。

〔実施状況〕

三陸ジオパーク推進協議会において、三陸ジオパークエリア内で活動するガイドの中核となる「三陸ジオパーク認定ガイド」5名を新規認定したほか、これまで認定したガイドは、三陸ジオパークフォーラムでのエクスカーションツアーでのガイドや、日本ジオパーク再認定審査におけるガイドなどに対応した。

〔実績額〕

200,000 円

〔主な成果〕

三陸ジオパーク認定ガイドとして5人を新規認定し、平成30年度まで認定ガイドが不在であった山田町、大船渡市に認定ガイドが誕生した。（全30人）

〔今後の展開〕

「三陸ジオパーク推進行動計画」において、令和2年度末までに認定ガイドを45人養成することとしていることから、今後も引き続き認定ガイドの養成を実施し、ジオパーク活動を支える人材として活動していく。

当基金としては、ジオパークガイド養成を引き続き支援していく。

2 三陸地域における観光人材の育成

〔目 的〕

三陸地域の観光地づくりを推進するため、観光関係者の連携の推進、売れる旅行商品づくりを担う人材育成等を実施するもの。

〔実施状況〕

三陸沿岸地域の豊かな自然・食材の恵み・郷土文化等を生かした体験プログラムをはじめとする売れる旅行商品の企画を担う人材の育成を目的とした「三陸観光プランナー養成塾」を開催した。

○ 令和元年度三陸観光プランナー養成塾の開催内容（モニターツアーと同時開催）

	開催日時	開催地	主な内容
第1回	R1. 12. 12～ 12. 13	山田町 大槌町	漁師さんのアカザラ貝体験・プラスチック3Dモデル職人と作る体験
第2回	R2. 1. 23～ 1. 24	田野畑村	机浜番屋塩づくり体験・サップ船で行く机浜番屋朝食
第3回	R2. 2. 27～ 2. 28	遠野市 住田町	遠野ナイトピアホッピング体験・住田メイプルスノーハイク体験

〔実績額〕

「三陸地域の交流人口拡大に向けた広域活動調査事業」と連携して実施。

〔主な成果〕

令和元年度は新規に8名の三陸観光プランナーを養成し、平成28年度から累計で59名養成した。

〔今後の展開〕

これまで養成した三陸観光プランナー同士の連携や活動支援、体験プログラムの造成支援を行うとともに、特に高付加価値型旅行商品向けの観光コンテンツを企画できるプランナーの養成に重点的に取り組む。



第1回三陸観光プランナー養成塾
(漁師体験プログラム)



第3回三陸観光プランナー養成塾
(昔話語り部プログラム)

3 被災地の若手経営者等を対象とした人材育成

〔目的〕

官民一体で持続的な三陸沿岸地域の産業振興を図るため、地域のリーダー的人材を育成する取組を推進するもの。

〔実施状況〕

中小企業の経営者や後継者等を育成する講座「さんりく未来創造塾」を計6回開催した。9名が受講し9名が修了、事業戦略やマーケティング等のノウハウを学んだ。

	内容	実施日	場所
第1講	「リーダーシップ」	令和元年6月12日	清温荘（盛岡市）
	「事業戦略」	令和元年6月13日	
第2講	「マーケティング」	令和元年7月23日	清温荘（盛岡市）
	「財務」	令和元年7月24日	
第3講	「人づくり」	令和元年9月18日	岩手県工業技術センター （盛岡市）
第4講	事業計画発表会	令和元年11月1日	ホテルニューカーリーナ （盛岡市）

〔実績額〕

委託料 4,977,891円（税込）

委託先 公益財団法人いわて産業振興センター（盛岡市）

[主な成果]

本講座が自らの事業を見直す契機となったほか、ビジョンの明確化から具体的シナリオの構築までの作業を成し遂げるにより、経営者として必要なスキルを身に付けることができた。また、各塾生がお互いに切磋琢磨する場となり、経営者同士のネットワーク構築の一助となった。

[今後の展開]

県北・沿岸地域においては、実践的な事業展開を支援できる人材やノウハウが不足していることから、修了者とのつながりを生かしながら、人材育成の取組を実施する。



公3：三陸地域の振興に関する調査研究事業に対する助成

公4：三陸地域及びその周辺地域の振興に関する研究開発事業に対する助成

○ 調査研究事業

[目的]

大学・研究機関等の知的資源を生かした三陸地域の振興に資するための実用性・事業性の高い研究事業への助成を行い、その調査研究成果の普及啓発等により、三陸地域の地域資源を活用した研究・開発の促進を図る。

[実施状況]

- (1) 助成件数 7件(助成総額 8,996,000円) (別添資料1参照)
(※申請件数23件/採択件数7件)
- (2) 機関誌「三陸総合研究」第44号の発行(250部、9月発行)
- (3) 成果報告会の開催(令和元年11月18日 参加者73名(於:大船渡市魚市場))



公5：三陸地域及びその周辺地域の地域振興を図るための事業に対する助成

1 県北沿岸地域新商品・新サービス開発事業

〔目的〕

地域の農林水産物や観光資源などの特性を生かした新商品開発や国内外からの観光誘客促進に向けた受入態勢の整備及びサービス開発にかかる経費に対する助成を行う。

〔実施状況〕

助成件数 54件（助成総額 23,064,000円）（別添資料2参照）

（※申請件数67件／採択件数57件のうち中止3件）

2 地域コミュニティ再生・活性化支援事業

〔目的〕

地域コミュニティの再生に向け、若者・女性をはじめとする地域住民・関係者が主体となって行う地域再生計画の策定とその計画実現に向けた取組及び「三陸防災復興プロジェクト2019」への住民参画につながる取組にかかる経費に対する助成を行う。

〔実施状況〕

助成件数 13件（助成総額 10,038,000円）（別添資料3参照）

（※申請件数21件／採択件数14件のうち中止1件）

3 イベント開催助成事業

〔目的〕

三陸地域の活性化及び交流人口の拡大に向けたイベント（震災復興に資する取組、また三陸地域として広域的波及効果がみられる取組と認められるもの）開催経費に対する助成を行う。

〔実施状況〕

助成件数 6件（助成総額 34,065,000円）（別添資料4参照）

（※申請件数8件／採択件数6件）



地域コミュニティ再生・活性化支援事業
（なごみの会）



イベント開催助成事業
（いわて絆まつり in 宮古 2019 実行委員会）

事業報告の附属明細書の作成について

令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和2年5月

公益財団法人さんりく基金

(資料1) 令和元年度調査研究事業(7件) 実績一覧

	申請者名	タイプ	事業名	助成金額 (円)
1	北里大学海洋生命科学部 教授 高橋明義 岩手大学三陸水産研究センター センター長 平井 俊朗 水産研究・教育機構東北水産研究所 清水 大輔	I	高級魚ホシガレイ生産拠点構築へのアプローチ	1,500,000
2	岩手大学農学部 准教授 後藤友明	I	貝毒低減化に向けた貝類の陸上水槽での飼育試験	1,500,000
3	岩手大学三陸水産研究センター 助教 塚越英晴	I	サクラマス種苗生産技術見直しへ向けた春遡上・秋遡上群の遺伝特性分析	715,000
4	北里大学海洋生命科学部附属 三陸臨海教育研究センター 教授 森山俊介	I	痩せウニとアワビの身入りを促す食品加工残滓を有効活用したバイオマス飼料の開発と蓄養技術の開発	1,500,000
5	東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋 研究センター沿岸保全分野 特任教授 野畑重教 岩手大学三陸水産研究センター センター長 平井俊朗	I	国内サーモン養殖を支える高海水適応性種苗開発のための分子評価系の構築	1,492,000
6	岩手大学農学部動物科学科 教授 澤井健	I	食肉処理場由来卵巣を用いた体外受精技術による日本短角種牛の効率的な産子生産技術の開発	1,500,000
7	岩手大学三陸水産研究センター センター長 平井俊朗	I	無機飽和溶解酸素を用いた冷水性魚類の高温時の飼育試験	789,000
			合計	8,996,000

※タイプ I …大学等研究機関が実施する調査研究事業

タイプ II …大学等研究機関と事業者が連携して実施する調査研究事業

(資料2) 令和元年度県北沿岸地域新商品・新サービス開発事業(54件) 実績一覧

	事業者名	住 所	事業概要	助成金額 (円)
1	農事組合法人金田一 営農組合	二戸市	地域テロワールで「金田一う米」「金田一りんご」 をブランド化	420,000
2	久慈ファーム有限会 社	二戸市	地域特産品「佐助豚」を活用した常温新商品の開発 事業「SASUKE」「ジャとふ」「豚ぺっこジャー キー」「コロコロさすけ」「ガンガンジャーキー」	359,000
3	株式会社結	一戸町	一戸町御所野遺跡の世界文化遺産登録推進キャラク ターグッズ製作	500,000
4	大黒醤油株式会社	軽米町	軽米町産のえごまの葉を利用した、新商品健康茶 「えごま葉茶」の開発と商品化	316,000
5	古館製麺所	軽米町	三陸防災復興プロジェクト2019へ向けた新商品開発 及び既存商品の改良「イシツブテのわんこそば」 「生うどん」	374,000
6	かるまいシリアルブ ランド化女性推進協 議会	軽米町	日本一の雑穀王国・軽米シリアルバウムクーヘンの パッケージ開発と宣伝ツールの作成	500,000
7	有限会社瀧村屋	軽米町	彩りの里・美容と健康の軽米町産若鶏でつくる本格 「燻製チキン」の商品開発	500,000
8	尾田川農園	軽米町	～千年の歴史を子供たちへ～ 楽しくハート五穀ホワイトクラッカーの開発	500,000
9	西大野商店	洋野町	創業安永7年の老舗の蔵をモチーフとし、洋野町特 産行者にんにくと岩塩を使用した新商品開発「行者 にんにくソルト」	460,000
10	まめぶの家	久慈市	久慈市山形町の伝統料理の食材「まめぶ」のバリ エーション豊かな新創作・新商品の開発料理	500,000
11	清水頭養蜂場	久慈市	美しい北岩手・自然林や草原の山形町の魅力を伝え るハチミツ菓子の開発	500,000
12	山形村天狗森舞茸生 産組合	久慈市	久慈市山形町の地域資源である、近自然栽培法によ る菌床マイタケ「天狗森舞茸」の長期保存を考慮し た土産品となる商品開発	500,000
13	浜っこ母ちゃん倶楽 部	久慈市	久慈市が誇る侍浜町の地域資源「短角牛」を活用し た「牛スジカレー」商品開発及びパッケージデザイ ン開発	500,000
14	株式会社佐幸本店	久慈市	岩手産山ぶどうを原料とした「山ぶどうグミ」の開 発及び岩手県内産キャンベル果汁100%の新ラベ ル・パッケージ開発	500,000
15	株式会社オフィス COEUR	久慈市	久慈地域特産「短角牛」商品の差別化と希少性の訴 求による地域ブランド構築のためのラベル・パッ ケージ開発「短角牛ローストビーフ」	108,000
16	株式会社七星	久慈市	純岩手県産浄法寺漆を用いた「浄法寺漆塗50本竹 胴」製作	149,000
17	涼海の丘ワイナリー	野田村	のだ「山ぶどうワイン」とベストマッチの干物新商 品開発プロジェクト	500,000

(資料2) 令和元年度県北沿岸地域新商品・新サービス開発事業(54件) 実績一覧

	事業者名	住 所	事業概要	助成金額 (円)
18	株式会社青の国ふだい	普代村	普代村の未利用地域資源「昆布パウダー」を活用した、パスタ商品パッケージデザイン等新商品開発事業「Kon Pas」	500,000
19	下川原商店	普代村	普代村の昆布を活用した既存商品の「昆布之介」や「鼓舞焼き」、「コンブッセ」等と昔から親しまれてきた北岩手の駄菓子を詰め合わせ、観光客に手軽に買えるお土産品アソートセットのパッケージデザイン開発事業	500,000
20	横屋てしごとや	岩泉町	岩泉の手しごと品・布ビーズアクセサリーの商品化(改良)と販売機会創出	500,000
21	山根商店	宮古市	「鮭寿の宴」ギフト用品および外国人観光客のお土産品開発	450,000
22	弥五兵衛屋伊藤商店	宮古市	事業の継続性を高めるための新規事業の立ち上げ「さんま・さばみりん干し商品」開発	440,000
23	丸友しまか有限会社	宮古市	真ガキ(宮古湾養殖もの)を使用した商品「宮古牡蠣の醤油煮」のパッケージ作成	432,000
24	有限会社木村商店	山田町	既存商品の改良及びお客様への商品案内サービスの改良	407,000
25	芳賀 隆	山田町	日本一の山田町産原木しいたけの販路拡大のためのブランディングプロジェクト	500,000
26	芳賀榮三きのご園	山田町	山田町の逸品を差別化させ、ブランディングを行い販路拡大と知名度アップを目指す	365,000
27	釜揚げ屋	山田町	伝統的食文化あずきぱっとうを“和スイーツ化”プロジェクト	356,000
28	有限会社まるき水産	山田町	山田の大粒牡蠣をそのままお土産に(低温調理かきとかきの串刺し)	365,000
29	一般社団法人COLERE	大槌町	岩手が生んだショートパスタ!「ひつつみ」のアレンジメニューでキッチンカーの売上アップ	474,000
30	株式会社TOKUTA	大槌町	釜石・大槌産(地元産)のスギを活用した収納家具「しつらえ」の開発・販売	500,000
31	株式会社ササキプラスチック	大槌町	3Dプリンターを活用した新技術導入による国内外観光客向け新商品開発	500,000
32	NRC株式会社	大槌町	木素材のカーフベンディング加工による大槌の新しい地域ブランド品の開発と販路の構築(ドリッパースタンド)	347,000
33	小豆嶋漁業株式会社	大槌町	「三陸の美味しい魚介類を食べるスープ」の商品開発で“小豆嶋ブランド”の発信	500,000

(資料2) 令和元年度県北沿岸地域新商品・新サービス開発事業(54件) 実績一覧

	事業者名	住 所	事業概要	助成金額 (円)
34	小関 直	遠野市	遠野への移住希望者向けの低コスト住宅開発「巣箱(SU-PACO)」	464,000
35	小友ようかんプロジェクト	遠野市	地域の小さな雇用創出事業「小友ようかんプロジェクト」の商品開発・改良と販路開拓	496,000
36	富川屋	遠野市	馬産地・遠野の伝統工芸“馬っこ”のリデザインと商品化	418,000
37	平平舎	遠野市	遠野の野生に生きる鹿の「セーム革」試作加工及びロゴデザイン制作	145,000
38	有限会社リアス海藻店	釜石市	新商品開発及び三陸わかめ等の拡販	500,000
39	有限会社山崎清三商店	釜石市	釜石発オリジナル黒豆珈琲の商品開発	500,000
40	一般社団法人根浜MIND	釜石市	みんなのいのちを守る「お守りホイッスル」釜石市根浜地区お土産商品開発事業	490,000
41	株式会社熊谷鉄工所	大船渡市	「岩手・三陸鉄あわび」の新パッケージ開発と「販売キット」開発事業	500,000
42	丸橋とうふ店	大船渡市	三陸鉄道利用者及び外国人観光客をターゲットにした「豆乳ソフトクリーム」の商品開発及びパッケージ制作による販路拡大事業	452,000
43	さとう整体療術院	大船渡市	大船渡に自生する黒文字(樹木)を活用した三陸初の和精油開発、販売	500,000
44	元正榮 北日本水産株式会社	大船渡市	地域の水産物の特性を生かした観光資源の発掘～三陸産エゾアワビの陸上養殖の再開・復興 日本一から世界一へ～	315,000
45	株式会社シー・フロント	大船渡市	～美味しい楽しい元気の街大船渡～ 大船渡産牡蠣の商品開発を通じて大船渡を全国に発信!	500,000
46	株式会社三笑	大船渡市	大船渡産のナマコ成分と大船渡産椿油を利用した、新ナマコ石鹸の開発と販路拡大	500,000
47	株式会社デマンド	大船渡市	三陸を代表する「ジャズの宿」の受入態勢整備	500,000
48	野村海産株式会社	大船渡市	鮑の煮貝と鮑とナマコの燻製	500,000
49	大和田牡蠣養殖所	陸前高田市	米崎産牡蠣を活用した商品開発とシングルシード養殖牡蠣の認知度アップ「カキ漁師の牡蠣カレー」	500,000
50	北限のゆず研究会	陸前高田市	北限のゆずアンテナショップin道の駅 開設による地域資源PRと交流人口の拡大	392,000

(資料2) 令和元年度県北沿岸地域新商品・新サービス開発事業(54件) 実績一覧

	事業者名	住 所	事業概要	助成金額 (円)
51	酔仙酒造株式会社	陸前高田市	米麹菌の自社開発による日本酒試作	411,000
52	らら・ぱれっと	陸前高田市	米崎りんごを多くの人に知ってもらいたい 「三陸椿りんごジャム」の開発	153,000
53	特定非営利活動法人 SET	陸前高田市	観光客受入態勢の衛生管理面の強化整備	9,000
54	菊地 康智	陸前高田市	岩手の生姜 三陸ジンジャーのブランディングデザイン	497,000
			合計	23,064,000

(資料3) 令和元年度地域コミュニティ再生・活性化支援事業 (13件) 実績一覧

	申請者名	主な活動地域	事業概要	助成金額 (円)
1	湧口倶楽部	軽米町	折爪岳の大自然と風土を潤す湧水で地域活性化	800,000
2	なごみの会	久慈市	まちなか子ども食堂	929,000
3	おおかわむら地域振興協議会	岩泉町	地域活性化のための新たな体験メニュー発掘推進事業	987,000
4	大川地区団体連絡協議会	岩泉町	地域資源を活かし、女性と若者の力で地域を創る!	920,000
5	シネマ・デ・アエルプロジェクト	宮古市	登録有形文化財「東屋」を活用した、新たななりわいの創出とコミュニティ活性を目指すリノベーション計画の推進	971,000
6	「2019 三陸立志塾」実行委員会	宮古市 (沿岸広域)	2019 三陸立志塾 (三陸地域における若手経営者・後継者育成活動)	121,000
7	新生ハートニットプロジェクト	山田町 (沿岸広域)	新生ハートニットプロジェクト スタートアップ事業 (編み手コミュニティの継承と活動自立に向けたモデル構築)	828,000
8	株式会社Next Commons	遠野市	市民の学びと地域共助モデルをつくる“次世代公民館”運営事業	970,000
9	釜石子どもラグビー国際交流運営委員会	釜石市	釜石子どもラグビー国際交流事業	972,000
10	釜石湾漁業協同組合白浜浦女性部	釜石市	釜石産未利用海藻アカモクの活用～地域コミュニティの活用化に向けた市民の食卓や観光客に届ける新しい釜石の名産品の発掘(2年目)～	427,000
11	Home of Wisdom	住田町 (沿岸南部)	おらほアート (アート体験ワークショップの開催と商店街や地域と連携した作品展示会の実施)	1,000,000
12	碁石地区復興まちづくり協議会	大船渡市	コミュニティの新しい拠点創設による碁石地区のにぎわいづくり	381,000
13	クリエイティブファーム地域活性化プロジェクト	大船渡市	夢海公園近隣環境整備事業 ～フラクタルで創る「木漏れ日の広場」創出プロジェクト～	732,000
			合計	10,038,000

(資料4) 令和元年度イベント開催助成事業(6件) 実績一覧

	申請者名	事業名	イベント開催地	助成金額(円)
1	いわて絆まつりin宮古2019実行委員会(宮古市)	いわて絆まつりin宮古2019(県内33市町村の郷土芸能団体による演舞披露及び三陸グルメまつりの開催)	宮古市	15,000,000
2	かまいし賑わいづくり交流イベント実行委員会(盛岡市)	かまいし賑わいづくり交流イベント「復活!いわて三陸復興食堂2019秋」(※台風19号の影響によりイベント中止)	釜石市	2,057,000
3	株式会社キャッセン大船渡(大船渡市)	キャッセン大船渡エリア活性化事業(キャッセン・ミニ博)(海のうまいもの食堂や気仙空想文化祭、大船渡まちもり大学、コラボレートキャラバンなど年間通した各種イベント開催)	大船渡市	6,000,000
4	さかなグルメのまち大船渡実行委員会(大船渡市)	大船渡「さんまグルメ」普及イベント開催事業(市内飲食店におけるさんまグルメフェアや一流料理人を招請したChef's allianceツアーの実施、当該料理人によるプレミアム料理フルコースの開催)	大船渡市	3,696,000
5	三陸国際芸術推進委員会(大船渡市)	三陸国際芸術祭 連携プログラム「三陸で芸能に出会う旅(仮題)」(三陸各地の郷土芸能祭と連携した郷土芸能イベント)	三陸地域広域	5,308,000
6	一般社団法人いわて圏(一関市)	「新しい三陸」情報発信イベント事業(三陸地域の人・モノ・コトとの交流を通じて三陸の今を記事化するイベント「リアス式編集室」の開催)	三陸地域広域	2,004,000
			合計	34,065,000